

## 【板柳町】 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1. 1人1台端末をはじめとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」で述べられているように、子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと共同的な学びを実現するためには、ハードウェア・ソフトウェアの計画的な更新やICT環境の自足的な安定が必要不可欠となる。

板柳町では、これまで取り組んできた「風土に根ざした人間の形成」を根基とし、豊かな心と広い視野を持ち、変動する社会に主体的に対応できる子供たちの育成を実現するためには、ICTの活用は重要な役割を担っている。

「主体的・対話的で深い学び」の実現するため、学習支援ソフトウェアや学習eポータル学習履歴を活用し、児童生徒の特性や学習到達度に応じた学習機会の提供や児童生徒自身が最適な学習を調整するための支援を行い、「個別最適な学び」の実現を目指す。

また、授業支援ソフトウェアを活用し、他者との協働作業を通じて、必要な資質・能力を育成する「協働的な学び」の実現を目指す。

### 2. GIGA第1期の総括

令和2年度において、1人1台端末及び校内通信ネットワーク環境の整備により、ICT教育の体制が整えてきた。

令和4年度からは各校を巡回して支援できるようにICT支援員（GIGAスクールサポーター）を配置し、教職員や児童生徒の学習活動のサポートを行っている。

また、AIドリルを導入し、家庭でもGIGA端末が使用できるよう規程を整備することで児童生徒の家庭学習にも活用されている。

ただし、ICTを活用した授業が広がっている一方で、学校間・教員間での利用率の差が大きく、有用的な活用ができていない学校があるという課題があり、課題改修のために各種研修や先進的な実践事例を共有したりする機会を設けるなどして改善につなげていく必要がある。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

#### 【1人1台端末の活用】

1人1台端末環境を引き続き維持し、各教科の授業や総合的な学習の時間、児童会生徒会活動、校外学習、家庭学習等、校内外の様々な場において積極的な利活用を進める。

### 【個別最適・協働的な学びの一体的な充実】

デジタル学習基盤を活かし、児童生徒が学習方法や学習過程等を自分で選択し、自己調整しながら学習を進められる環境を整えるとともに、リーディングDXスクールや先進的な実践事例等を共有するなど、研修を通して授業観を更新し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現していく。

### 【学びの保障】

児童生徒が多様化し学校が様々な課題を抱える中であっても、誰一人取り残すことなく学びを保障していく。そのために、全ての児童生徒が、自宅等学校外の場で端末を活用して学びを進められるように環境を整える。

また、学校や学級になじめない児童生徒には、学校や教育支援センター等が連携しながら、オンラインでの教育相談や録画授業等を提供する等、場や時間に左右されない学びの環境を保障していく。

特別な支援が必要な児童生徒に対しては、必要な支援内容に配慮したデジタル教材・教具等を提供する等、学びやすい環境を整えるとともに、全ての児童生徒が学びやすい環境を整えるために、学習者用デジタル教科書等を活用する。